

農業情報（令和7年8月）

内 容	写真等	とき・ところ
		主体・対象（構成員数）
知多酒米研究会と酒造会社が「若水」の収穫・出荷を調整 ＪＡあいち知多酒米研究会が酒造好適米「若水」のほ場観察会を開催し、生産者３名、酒造会社４社、ＪＡあいち知多、ＪＡあいち経済連、農業総合試験場技術推進室、農業改良普及課の計13名が参加しました。 始めに常滑市内のほ場で「若水」を観察し、生育が順調に進んでいることを確認しました。その後の意見交換では、酒造会社から生産者に対し、「酒造りのスケジュールに合わせて、必要な量の酒米を出荷して欲しい」との要望がありました。生産者はこの要望に応える形で収穫を進めていくことで合意しました。 農業改良普及課からは、今後の生育予測や病虫害防除について情報提供を行いました。引き続き、酒造りに適した高品質な酒米が収穫できるよう、今後も生産者に支援を行っていきます。	 「若水」ほ場観察会の様子	令和7年8月25日 酒米栽培ほ場 (常滑市) 酒造会社、 ＪＡあいち知多、 農業総合試験場、 農業改良普及課、 ＪＡあいち知多酒米研究会 (5名)